

メハジキ

Leonurus japonicus Houtt.
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも減少している。

分 布

北海道、本州、四国、九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山野の道ばたや荒地に生える越年草。根出葉は長い柄があり、花時には枯れる。茎は直立、高さ50～150cm、分枝し、短い圧毛がある。葉はやわらかく3深～全裂し、裂片はさらに分裂、裏面に白色の短毛が密生する。7～9月頃、紅紫色で唇形の花が上部の葉腋に付く。

生育を脅かす要因

土地造成、道路工事等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか(1981)、福井県自然保護課編(2004)
福井県植物研究会(1998)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

タテヤマウツボグサ

Prunella prunelliformis (Maxim.) Makino
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

高山の草原に生える多年草。茎は束生し高さ25～50cm、あらい毛が少しある。葉は5～10対あり長さ3～8cm、幅1.5～4cm、ごく短い柄がある。7～8月頃、茎頂に短い密な花穂を出し、長さ2.5～3.2cmの紫色の花が付く。

生育を脅かす要因

産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか(1981)、福井県自然保護課編(2004)
福井県植物研究会(1998)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○	○						○	

デワノタツナミソウ

Scutellaria muramatsui H.Hara
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

森林伐採等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分 布

本州（近畿地方以北）に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山地のやや湿った林内に生える多年草。茎は長く這った地下茎から立ち上がり高さ10～30cm、ごく短い下向きの毛がある。葉は長さ2～3.5cm、幅1～2.5cm、表面はまばらに毛があり、裏面も脈上に細毛がある。5～6月頃、3～5cmの花序に紫色の花が付く。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか(1981)、福井県自然保護課編(2004)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○	○			○		○	○	○			○	○